

令和7年度 小平市立小平第十四小学校 学校評価計画表					
学校教育目標		人権尊重の精神を基調に、心身共に健康で、知性と感性に富み、生涯学び続けようとする国際性豊かな日本人の育成を目指して、次の目標を掲げる。 ◎たぐましい子 ○やさしい子 ○考える子 ○おこなう子			
目指す学校像(ビジョン)					
【目指す学校像】		夢や希望を育む学校～笑顔あふれる十四小～			
【目指す児童・生徒像】		「たぐましい子」(1)自分で考え判断し、粘り強く取り組む子 (2)自らを律しつつ、協働できる子 (3)明るく健康で、すすんで運動に親しむ子			
【目指す教師像】		(1)児童に学ぶ楽しさや分かる喜びを味わわせ、児童のよさや個性を伸ばす教員 (2)切磋琢磨して授業力を高め結果を出すことで充実感をもてる教員 (3)保護者・地域から信頼される教員			
前年度までの学校経営上の成果と課題					
【成果】学校経営協議会、学童農園の活用、学校支援ボランティアなど、保護者・地域との連携の充実。学校の教育活動の広報活動の活性化。児童や保護者に寄り添った組織的対応。 【課題】児童の学力の差に対する個別対応、体力の向上。特に配慮を必要とする児童への適切な支援及び保護者や関係機関との連携。挨拶の習慣や話の聞き方が身に付いた児童の育成。					
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)
確かな学力の定着	学ぶことの楽しさを味わわせ確かな学力を身に付けさせる。	・規律ある学習習慣を確立する。 ・基礎的・基本的学習内容の定着を図る。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。 ・豊かに表現する力を育む指導を工夫する。	①返事・挨拶、聞き方と話し方、用具の準備の徹底 ②授業の開始時刻、終了時刻の厳守 ③明確なめあてと振り返りのある授業、家庭学習による定着 ①年間3回の管理職による授業観察及び教員相互の参観 ②児童の主体性を引き出し、学習者用端末の活用等を含めた表現力を高める指導の工夫 ③単元全体を見通した対話的な学習活動を重視した授業の実施	4 教職員の取組評価で、肯定的回答100%	4 90%以上の児童が当該学年の指導内容を身に付けている。
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%～99%	3 80%以上の児童が当該学年の指導内容を身に付けている。
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%～69%	2 70%以上の児童が当該学年の指導内容を身に付けている。
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 70%未満の児童が当該学年の指導内容を身に付けている。
豊かな人間性	豊かな感性、社会規範を身に付けさせる。	・いじめの未然防止、早期発見、早期解決、再発防止に向けた対応を徹底する。 ・基本的な生活習慣を確立する。 ・異学年交流活動の充実を図る。 ・道徳指導の充実を図る。	①こまめな実態把握、相談・連絡・報告・記録 ②校内組織の活用と連携による迅速な対応 ③自然や動植物から命について触れ、考える体験学習の充実 ①挨拶・返事、靴箱の整理、身の回りの整理整頓、安全で清潔な行動様式を確立させる。 ②全教職員による情報の共有、統一した指導 ③ねらいを明確にした週1時間の道徳授業の充実	4 教職員の取組評価で、肯定的回答100%	4 児童アンケート及び保護者アンケートで80%以上が肯定的評価
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%～99%	3 児童アンケート及び保護者アンケートで70%以上が肯定的評価
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%～69%	2 児童アンケート及び保護者アンケートで65%以上が肯定的評価
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 児童アンケート及び保護者アンケートで65%未満が肯定的評価
健康でたくましい心身の育成	健康・運動に対する関心・意欲を高め、互いに協力し合いながら心身を鍛えようとする子どもを育てる。	・運動や健康への関心・意欲を高める。 ・体力の向上を図る。 ・食育に係る体験型学習の充実を図る。	①運動への動機付けになる体育授業の実施 ②体育的活動の意図的・計画的な実施 ③養護教諭による健康に関する授業の実施 ①栄養士の専門性を生かした食育授業の実施 ②学童農園での体験活動の充実	4 教職員の取組評価で、肯定的回答100%	4 児童アンケート及び保護者アンケートで80%以上が肯定的評価
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%～99%	3 児童アンケート及び保護者アンケートで70%以上が肯定的評価
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%～69%	2 児童アンケート及び保護者アンケートで65%以上が肯定的評価
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 児童アンケート及び保護者アンケートで65%未満が肯定的評価
保護者・地域との連携	保護者・地域との連携を図り、信頼される学校づくりを推進する。	・学園東小学校、小平第一中学校との連携強化を図る。 ・社会に開かれた教育課程の実現を目指す。	①小中連携共通「こいだらこれだけは」のユニバーサルデザインの実施 ②一中校区「推薦図書60冊」の活用 ①週5回以上の学校HP更新や学級通信等の広報活動の充実 ②地域の人材・自然・施設等を活用した授業の各学年2回の実施 ③地域に貢献する授業の各学年1回以上の実施	4 教職員の取組評価で、肯定的回答100%	4 児童アンケート及び保護者アンケートで80%以上が肯定的評価
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%～99%	3 児童アンケート及び保護者アンケートで70%以上が肯定的評価
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%～69%	2 児童アンケート及び保護者アンケートで65%以上が肯定的評価
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 児童アンケート及び保護者アンケートで65%未満が肯定的評価
働き方改革・業務改善	勤務時間・健康管理を意識した働き方改革を推進する。	・出勤時に退勤予定時刻を申告させる。 ・教員の「学習指導力」「生活指導・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」の向上を図る。	①無駄や無理を省く校務分掌の改編と会議出席者の精選 ②『定時退勤チャレンジデイ』の定期的な設立と実施 ①校内OJTの計画的な実施 ②小平市や東京都等の研究会や研修会への積極的参加と学びを生かした実践	4 教職員の取組評価で、肯定的回答100%	4 自己評価で「すんでライフ・ワーク・バランスに取り組んだ」教員が90%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%～99%	3 自己評価で「すんでライフ・ワーク・バランスに取り組んだ」教員が80%以上
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答50%～69%	2 自己評価で「すんでライフ・ワーク・バランスに取り組んだ」教員が60%以上
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答50%未満	1 自己評価で「すんでライフ・ワーク・バランスに取り組んだ」教員が60%以上